

## (9) UAV (ドローン) の活用について

UAV (ドローン) を活用した各種調査や計画策定等をサポートします。

### 1. UAVの技術は日進月歩

UAVとは、「無人航空機 (Unmanned aerial vehicle)」の略で、一般に「ドローン」と呼ばれています。

現在、UAVは建設工事で多く使われているほか、農業分野でも施肥や防除に実用化されています。また、UAVを活用した技術は日進月歩で、急速に活用が増えている状況です。

水土里ネットワークでは、今年度からUAVを導入しており、今後、農業農村整備における各種調査や計画策定等へ活用していきます。



### 2. 農業農村整備における UAV の活用例

- ・ 鳥瞰映像 (写真) による事業効果の確認



事業着手前と事業完了後の鳥瞰映像 (写真) を撮影することで、ほ場整備による大区画化等の状況を確認することができます。

工事中のほ場整備地区  
を鳥瞰で撮影  
(奥州市胆沢、  
若柳中部地区)



UAV操縦状況

- ・ 水土里情報システムとの連携



撮影した航空写真を水土里情報システムに登録し、最新の航空写真で施設管理を行うことができます。

水土里情報システムの航空写真に、UAVで撮影した航空写真を重ねることができるので、最新の画像での施設管理やデータ管理が可能になりました！

- ・ その他

換地における一時利用地指定図作成  
ポンプ場等の建屋の機能診断  
災害発生時の現地調査



3D画像も作成できます

UAVの農業農村整備への活用や新技術について調査研究していきます。

**UAVの活用について、お気軽にご相談ください。**

【 農村整備第一課：TEL019-631-3203 】